

# 理科部 オキヒラシイノミガイ研究班

## 長崎県と大村市への

# 研究報告会



令和5年 5月26日（金）放課後、理科部の研究班の1つ「オキヒラシイノミガイ研究班」が、長崎県庁、大村市役所への研究報告会を、対面とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。

報告題： 「長崎県の大村湾オキヒラシイノミガイの生態と繁殖戦略  
～産卵・発生・孵化と潮汐の関係～」

当日の報告者： 理科部3年 戸島菜月さん

外部参加者： 長崎県県民生活環境部

自然環境課 生物多様性保全班、地域環境課 地域環境班  
大村市 環境保全課、上下水道局

令和3年10月～令和5年3月までの間、理科部では、長崎県から大村湾内での捕獲等の許可を得て、オキヒラシイノミガイの生態に関する研究を重ねてきました。今回発表した世代も、先輩の研究を3名で引き継いで2年間研究を続けてきました。その一連の成果を、代表して戸島さんが報告しました。

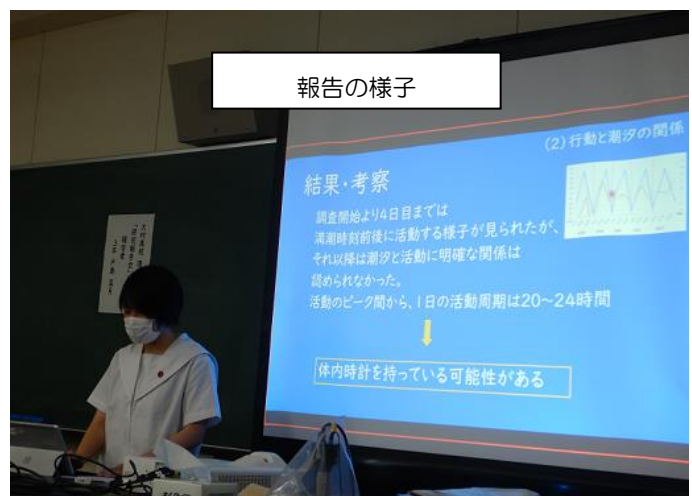
また、研究報告に加え、保全すべき自然環境も紹介しました。「干潟」「潮上帯」「ハマボウ等の海岸植生」の3つが揃う環境を維持することの大切さを、県や市からの参加者に向けて懸命に伝えました。今後、オキヒラシイノミガイをはじめとする生物の生育環境が、未永く維持されることを祈るばかりです。



市の方は対面で参加



県の方はオンラインで参加



報告の様子